

**Partial translation of Japanese Office Action**  
**Japanese Patent Application No. 2002-008988**

**It is recognized that Publications 1 to 4 disclose lubricating devices that have a structure similar to the invention according to claims 1 to 3 and claims 6 to 8 of the application concerned.**

**Publications 5 and 6 disclose an art in which lubricating oil adhering to an end face of a rotating body is scraped, and a transfer portion is provided to supply the scraped oil to a lubrication-required portion.**

**Publication 7 discloses a mechanism in which lubricating oil is pushed out by a helical gear.**

## 拒絶理由通知書

特許出願の番号	特願 2002-008988
起案日	平成18年 7月24日
特許庁審査官	藤田 和英 3223 3J00
特許出願人代理人	渡辺 丈夫 様
適用条文	第29条第1項、第29条第2項、第36条

この出願は、次の理由によって拒絶をすべきものである。これについて意見があれば、この通知書の発送の日から60日以内に意見書を提出して下さい。

### 理 由

1. この出願の下記の請求項に係る発明は、その出願前に日本国内又は外国において、頒布された下記の刊行物に記載された発明又は電気通信回線を通じて公衆に利用可能となった発明であるから、特許法第29条第1項第3号に該当し、特許を受けることができない。

2. この出願の下記の請求項に係る発明は、その出願前日本国内又は外国において頒布された下記の刊行物に記載された発明又は電気通信回線を通じて公衆に利用可能となった発明に基いて、その出願前にその発明の属する技術の分野における通常の知識を有する者が容易に発明をすることができたものであるから、特許法第29条第2項の規定により特許を受けることができない。

3. この出願は、特許請求の範囲の記載が下記の点で、特許法第36条第6項第1号に規定する要件を満たしていない。

記 (刊行物等については刊行物等一覧参照)

<理由1及び2について>

- ・請求項1-3、6-8
- ・理由1、2
- ・刊行物1-4
- ・備考

刊行物1-4には、本願の請求項1-3、6-8に係る発明と同様の構成を備えた潤滑装置が記載されていると認められる。

- ・請求項4

- ・理由 2
- ・刊行物 1－6
- ・備考

刊行物 5、6 には、回転体の端面に付着している潤滑油を掻き取り、潤滑油必要部に潤滑油を供給する受け渡し部を設ける技術が記載されている。

刊行物 1－4 に記載された発明に刊行物 5、6 に記載の技術を適用し、本願の請求項 4 に係る発明の構成とすることは、当業者が容易に想到し得ることである。

- ・請求項 5
- ・理由 2
- ・刊行物 1－7
- ・備考

刊行物 7 には、はすば歯車を用いた潤滑油の押出し機構が記載されている。

刊行物 1－4 に記載された発明に刊行物 7 に記載の技術を適用することも、当業者が容易に想到し得ることである。

#### <理由 3 について>

(1) 請求項 1－8 に係る発明は、「第 1 の回転体」、「第 2 の回転体」として種々のものが含まれる構成となっている（例えば、円板やローラ、オイルポンプ等）。

しかし、発明の詳細な説明には、「第 1 の回転体」、「第 2 の回転体」の具体例として動力伝達装置におけるギヤしか記載されておらず、当該ギヤの回転によって掻き上げられた潤滑油を所定の潤滑油必要部に供給する発明しか記載されていない。

そして、出願時の技術常識に照らしても、請求項に係る発明の範囲まで、発明の詳細な説明に開示された内容を拡張ないし一般化できるとはいえない。

よって、請求項 1－8 に係る発明は、発明の詳細な説明に記載した実施例を必要以上に拡張したものであり、発明の詳細な説明に記載したものとは認められない。

(2) 請求項 5 における「押出し機構」の具体例として、発明の詳細な説明には、はすば歯車を用いた機構しか記載されておらず、出願時の技術常識に照らしても、請求項に係る発明の範囲まで、発明の詳細な説明に開示された内容を拡張ないし一般化できるとはいえない。

#### 刊 行 物 等 一 覧

1. 実願昭 51－119447 号

(実開昭53-37883号)のマイクロフィルム

2. 実願昭54-72513号

(実開昭55-173755号)のマイクロフィルム

3. 実願昭55-190210号

(実開昭57-110359号)のマイクロフィルム

4. 特開平5-155265号公報

5. 特開昭59-208268号公報

6. 特開平6-107010号公報

7. 特開平7-54973号公報

---

先行技術文献調査結果の記録

・調査した分野      I P C    F 1 6 H 5 7 / 0 0    -    5 7 / 1 2

・先行技術文献      特開平5-52251号公報

                    実願昭60-36295号

                    (実開昭61-152844号)のマイクロフィルム

この先行技術文献調査結果の記録は、拒絶理由を構成するものではない。

---

この拒絶理由通知書内容及び面接に関する問い合わせ先

特許審査第二部一般機械 藤田和英

TEL. 03-3581-1101 (内線3328)

FAX. 03-3501-0530